

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第2回 健康づくり推進協議会
開催日時	令和5年2月21日 午後7時
開催場所	塩山保健福祉センター 1階 多目的ホール
議題	<p>(1) 令和4年度事業報告について</p> <p>① 会議の開催について</p> <p>② 部会の開催について</p> <p>③ 第2次健康増進計画・第3次食育推進計画の推進について</p> <p>④ 健幸ポイントこうしゅうについて</p> <p>(2) 第2次健康増進計画・第3次食育推進計画中間評価について</p> <p>(3) 令和5年度事業の方向性について</p>
出席委員	<p>(敬称略) 委員20名</p> <p>櫻井希彦、岩瀬輝彦、中村弘之、田邊有久、中村 功、瀧澤康雄、雨宮正明、荻原雄司、飯島かつ子、石井梨紗子、小林俊彦、中村文雄、澤田正志、網野澄子、三森公仁、矢澤裕次、岡 理恵、佐藤なほみ、渡邊香代子、田邊勝人</p>
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0 人
審議概要	<p>(1) 令和4年度事業報告</p> <p>① 会議の開催について</p> <p>② 部会の開催について</p> <p>③ 第2次健康増進計画・第3次食育推進計画の推進について</p> <p>④ 健幸ポイントこうしゅうについて</p> <p>以上について、事務局および委員より報告、意見交換</p> <p>(2) 第2次健康増進計画・第3次食育推進計画中間評価について 承認</p> <p>(3) 令和5年度事業の方向性について 承認</p> <p>詳細は別紙議事録参照</p>
事務局に係る事項	<p>※ 事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等</p> <p>健康増進課 健康企画・地域医療担当 32-5014 出席人数7人</p>
その他	<p>※ 上記以外で審議会等が必要と認める事項</p>

令和4年度第2回 甲州市健康づくり推進協議会 議事録

実施日時 令和5年2月21日(火) 開始 19:00 終了 20:30

司会進行:健康増進課 健康企画・地域医療担当リーダー 田口

1. 開会	<p>司会による開会宣言</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度新規委員の紹介(9名) 甲州市区長会会長 雨宮正明委員 甲州市食生活改善推進委員会会長 飯島かつ子委員 (健康づくり推進協議会 副会長) フルーツ山梨農業協同組合営農指導部生活指導課係 石井梨紗子委員 甲州青年会議所理事長 菊島直紀委員(欠席) 甲州市男女共同参画推進委員会会長 網野澄子委員 甲州市小中学校校長会会長 三森公仁委員 甲州市スポーツ協会副会長 矢澤裕次委員 甲州市公民館長主事会会長 柏原健仁委員(欠席) 甲州市学校保健研究会副会長 佐藤なほみ委員
2. 会長あいさつ	<p>瀧澤会長</p> <p>当協議会は、令和2年の7月の集合型の開催を最後にずっと書面開催であり、実に2年半ぶりぐらいの集合型開催となっている。久しぶりに皆様にお集まりいただき、集まってよかったと評価されるような、そんな会議にしたいと考えている。委員各位のご協力をお願いする。</p>
3. 議事	<p>○司会:健康増進課 健康企画・地域医療担当リーダー 田口</p> <p>市審議会等の会議の公開について</p> <ul style="list-style-type: none">・当協議会は、市長の附属機関として設置をされており、甲州市審議会等の会議の公開に関する基準に基づき、原則公開するものとなっている。・市ホームページにおいて会議の開催案内をしていたが、本日の傍聴希望者はなし。・会議録、また本日配布させていただいた資料の公開については、事務局窓口での閲覧、また、市のホームページへの掲示とさせていただきます。 <p>議長は瀧澤会長をお願いする。</p>

議事 議長：瀧澤会長

(1) 令和4年度事業報告について

① 会議の開催について

② 部会の開催について

▶ 別紙I P1~2

説明：健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

別紙I…1ページ

① ② 会議および部会の開催についてあわせて報告。1~2ページの記載を参照。

本日2月21日の第2回健康づくり推進協議会については、2名の委員が欠席のため、20名の出席となっている。

別紙I…2ページ

関連会議に関する報告。

食育推進庁内ワーキングについて、2ページの記載を参照。

質問・意見等

なし

以上で(1)①②についての議事を終了

③ 第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画の推進について

▶ 別紙I P3~P12

説明：健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

・はじめに、第1回会議が書面開催であったこと、今年度新規委員が9名いることから、計画について補足説明を行ってから意見交換を行うこととする。

<第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画 説明>

第1回会議資料 別紙I…1ページ

・概要版に沿って説明を行っている資料となっている。

・甲州市では全ての市民がともに支え合いながら希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命のさらなる延伸を目指してこちらの計画を立てている。

・この計画に基づいて市の健康づくり、食育施策を実施しており、当協議会はこの計画の策定について審議し、市と連携協力して健康づくりを推進する組織となっている。

第1回会議資料 別紙I…2ページ

・上方に掲載がある「第2次健康増進課計画・第3次甲州市食育推進計画『みんなで元気に暮らすじゃん』」が、計画の名称。

・名前の通り、甲州市の健康づくりと食育推進について、総合的に進めていくための計画。

・前期計画はそれぞれ別々の計画だったが、図のとおり、今期の計画から一本の計画になった。相互に実効性を高め、総合的に推進していくために一本化している。

・計画の期間が令和元年から令和10年度になっており、来年度が中間評価の年度にあたる。

第1回会議資料 別紙I…3ページ

・本計画の目指す姿(全体の目標)と3つの重点目標について。

・目指す姿(全体の目標)：『人のつながりの中で、まめにからだを動かし、おいしく食べて、豊かに暮らせるまち』。

目指す姿を達成するために9つの目標が挙げられており、このうちの3つが重点目標になっている。

・重点目標1「まめからだを動かす」：一般的にいう運動だけではなく、家事や育児などの生活活動まで含めた身体活動全体をとらえて立てている。

・重点目標2「おいしく食べる」：栄養や食事・食育の部分であり、この「おいしく食べる」の部分が第3次食育推進計画にあたる。

・重点目標3「人の繋がりを大切にする」：人と人とのつながり、団結力、信頼関係などが、健康増進に寄与しているということが多くの研究から明らかになっており、「ソーシャル・キャピタル」とも呼ばれる。人とのつながり良好な人間関係や、お互いを支援すること、孤立を防ぐことが各自の健康づくりの推進力、支えることになるので、市民の方一人一人が繋がりをもち、市全体で健康意識を向上させることが大切ということで重点目標にあげている。

・重点目標以外の6つの目標は、4. がん対策、5. こころの健康・休養、6. タバコ・酒、7. 歯・口腔の健康、8. 感染症対策、9. その他となっている。

・この9つの目標達成に向けて取り組むことで、「めざす姿」の実現を目指している計画である。

それぞれの目標を達成するための取り組みの方向性としてさらに、下位の目標や指標が定められている。

第1回会議資料 別紙1…4ページ

・縦軸がライフステージ、それぞれ色分けされている。重点目標の1と2については、ライフステージ別の目標まで細かく決めている。

・縦軸のライフステージの右側にそれぞれの目標があり、この目標を達成していくための取り組みとして、その右側に「一人一人ができること」、「市民を支える取り組み」をあげている。

同様の構成で、ほかの目標についても次ページ以降に掲載している。

第1回会議資料 別紙1…7ページ

・計画の推進体制について。

目指す姿の実現に向けて、健康づくり推進協議会・専門部会を中心に市民と協働して計画を推進する体制となっている。

・当協議会は、推進体制の図の中で赤色の点線で囲まれている部分に位置づいており、当協議会から、下に記載されている庁内ワーキングに必要な支援の情報提供を行い、庁内ワーキングが支援と環境整備を行い、当協議会の皆様方から市民の方々に健康づくりの方向性を指南いただき、それが目標達成の1人1人の行動につながり、目指す姿につながっていく…という推進体制になっている。

<令和4年度の各団体・組織での取り組み報告について>

別紙1…3ページ

・今回の会議にあたり、各目標について令和4年度中に皆様方に取り組んでいただいた実績をご報告いただいている。事前に回答いただいた内容を、目標ごとに別紙1の3ページから掲載している。

目標ごとにまとめて掲載をしておりますのが、令和4年度事業報告の資料の3ページになります。

左側にそれぞれの目標が書いてあり、その目標に対応した取り組み報告が右側に記載されている。

※資料の訂正について

5ページ「重点目標2おいしく食べる」の取り組みの報告の欄

「別紙2参照」→「別紙3-1、別紙3-2参照」に訂正。

●議長 瀧澤会長

重点目標の1でいろいろ活動されてる甲州市社会福祉協議会中村会長、何かご意見ありますか。

○中村功委員

このコロナ禍、約3年近くになりますが、特に高齢者のために体を動かすということが非常に大切だということです。どうしても家に籠ってしまうと1日誰とも口をきかなかつたというような話が多く出てきているわけです。高齢者のいろいろな事業については中止になるものが多い中、そこを社会福祉協議会が実施していること。その際、コロナ感染に対する対策が必要で、考えられることは全て実施しました。時間を短くする、参加人数の制限をする、検温、消毒、マスクなど、そういったもの全てきちんとやった上で、甲州市老人クラブの室内競技、運動会、ゲートボール、グランドゴルフ、全ての競技を屋外で行わせていただきました。おかげさまで感染者はゼロ。もちろんクラスターも発生しなかったということで、対策をきちんと行えば事業もきちんとできるということ。ほとんどの事業をコロナを理由にやめるのは、少し過剰すぎるかなと感じました。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございました。中村委員からは、年配の方々のために体を動かすということについてご発言をいただきましたが、小さい子供や青少年のためにからだを動かすということについて、コロナというのはマイナスに働いているのではないかと考えているのですが、コロナ禍におけるためにからだを動かすことについての対策などはありますか。

○三森委員

学校現場ではガイドラインに沿った形で過ごしています。色々変わってきている部分もありますが、現在のところ屋外ではマスクの着用は不要であるとか、今後のマスクの取り扱いについても、そろそろ示されてくるという状況になっています。

適切な距離を取っていれば、マスクはしなくてもいいという指導もしています。例えば運動時はマスクを外して運動していますので、特に運動して体の調子が悪いなどといったことは、私の周りでは見られていません。また、本校も持久走大会をしております。もちろん長距離走る場合もマスクは外しています。コロナ禍以前と比べてそうした部分で影響が現在あるかということについては、しっかりとデータを取ってというわけではないですが、我々教師も子ども達の体力低下がないようにとこれまで取り組みをしてきた経過もあります。細かい影響というのはありますが、大きな低下ということはあまり感じられていません。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございました。ほかになれば議事を進めさせていただきます。

説明:健康増進課 健康づくり担当 高野

<令和4年度の各団体・組織での取り組み報告について> 続き

別紙3-1 別紙3-2

・重点目標2「おいしく食べる」は、第3次食育推進計画に位置づけられており、当協議会の食育専門部会および、甲州市役所関係各課で構成する食育推進庁内ワーキングの二つの会議を基盤に推進している。

・令和4年度の取り組み報告…別紙3-1、別紙3-2に掲載。

別紙3-1 食育推進庁内ワーキングに所属している9課の実績。

小児期、青年期、壮年期、高齢期、全年齢共通の取り組みに分けて掲載をしている。

左より、取り組みの概要、年間の実施計画、実績、次年度に向けた課題の順に掲載。

・実績の一部を紹介。

小児期：公立保育所で野菜作りやクッキング、味噌作り、栄養士による食育紙芝居、お箸教室等。

給食センターで地産地消を取り入れた給食提供や食育の日に山梨県の郷土料理や地場産物を活用したメニュー提供等。希望する小・中学校へ給食試食会やセンターの見学も実施。

教育総務課では市が作成する番組を共有サーバーに置き、市内小学校でオンデマンド視聴をする取り組みを実施。

勝沼図書館ではカムカムクラブで予定していたクッキングを紙粘土の紙カップ作りを変更し実施。

市で実施している乳幼児健診・離乳食教室では、生活リズムや朝ご飯の大切さについて伝えた。

その他、地産地消マップクリアファイルも小学校 3 年生に地域産業を学ぶ授業に活用できるよう特産物の紹介リーフレット等と一緒に配布した。

青年期：保育所、給食センターとの給食だよりを通して保護者へ情報発信をしている。

成人式では地産地消マップクリアファイルと共に、塩山式手ばかり、朝食推進のリーフレットを配布。

健幸ポイントこうしゅうでは、野菜たっぷりメニュー、バランスメニューをポイントメニューに設け、食事バランスの啓発に繋げている。

壮年期：大卒、青年期と重なる取り組みとなっている。

高齢期：壮年期と重なる部分もあるが、いきいき健康教室の奥野田地区で食生活改善推進委員が適切な食生活について啓発を行った。

全年齢共通：環境課で小学校や子育て世代に向け、リサイクル推進、ゴミの減量に関する出前授業を実施し、フードロスや食べ残しを減らすことがゴミ減量に繋がることを伝えた。

健康増進課では、6 月の食育月間に合わせ、市内各所で食育推進の取り組みを実施した。

食育出前では、塩山高校のお弁当の日に向けた講演会の実施、ふれあい生き生きサロンリーダー養成講座でフレイル予防の講話を行った。

別紙3-2 食育推進専門部会に所属している 11 団体の実績。

・概要のみ紹介する。

社会福祉協議会：例年行っている、高齢者に向けた配食サービスを実施。

商工会：取り組み始めて 3 回目となる「まちゼミ」を実施し、食に関する講座も開催した。

食生活改善推進員：各地区食育出前、訪問し汁物の濃度を確認する塩分普及活動、市内スーパーとのコラボブース設置や甲州市の広報へ年 4 回レシピを掲載するなどの広報活動を実施した。

フルーツ山梨農業協同組合：野菜ソムリエの先生による食育教室を各学校 3 年生を対象に実施、5 月には 1 人 1 鉢教室も実施。

青年会議所：菜食を手法に多様な価値観を受け入れられるまち作り事業としているベジ食べる KOSHU をもとに 9 月に集合型のイベントを実施。

民生児童連絡協議会：例年に引き続き訪問時に食の話題や配食サービスの周知を実施。

老人クラブ：グランドゴルフ大会、軽スポーツ大会、秋のスポーツ大会を開催。予定では食育推進のリーフレットを配布予定だったが、連絡調整の関係もあり、配布までにはいたらなかったということ。

その下は澤田会長がご自身で実施した食育に関する活動報告となっている。

男女共同参画推進委員会：3 年ぶりに集合型の男性料理教室を 12 月に開催。

小中学校校長会：部会員の担当校である大藤小学校での取り組みを掲載。食育紙芝居の実施やジャガイモサツマイモの栽培活動。また、各学年での栽培、調理の学習、JA の食育出前授業、また食育カルタの利用等を実施。

保育所連合会：部会の所属の担当の保育園の取り組みを掲載。食育についての紙芝居、本の読み聞かせや、年長児クッキング、お魚屋さんによるお魚の解体ショー、畑での活動等。

学校保健研究会：部会員担当の学校である祝小学校取り組みを掲載。学校農園での野菜作りや朝食摂取状況の状況把握、早寝早起き朝ご飯定着に向けたチェックカードなどの取り組みに加えて遠山保健師をゲストティーチャーに生命の教室を実施し、その中で塩山式手ばかりについてお話しいただく取り組み。

以上、取り組み実績報告。

コロナ禍でも工夫を凝らして活動が実施されているとともに、感染対策を講じながら、調理実習や集合型のイベントなどを再開されたものが多かった。次年度については、専門部会内で同意をいただいた6月の食育月間に合わせ、食育の取り組みを関係課、また関係団体とも連携しながら、市内各所で実施していきたい。

また、令和元年度より設けている「食育推進重点テーマ」の推進を引き続き予定をしている。

●議長 瀧澤会長

重点目標2「おいしく食べる」の実績報告について、ご意見ありますか。

補足しておきたいことや、資料に掲載されていない取り組みの報告、または相互に聞いてみたいこと等ありましたらお願いします。

食べる関係について、食の劣化なんて言葉があります。添加物のこと等、そういう点で何か今後の食育推進の上で、食べ物についての情報を勉強してもらってもいいのかな、と思いますが、何かその点でご意見はございますか。

(特になし)

●議長 瀧澤会長

重点目標3に移ります。

重点目標3は、人のつながりを大切にすること。この点について、ご意見・補足説明ありましたらお願いします。

中村文雄委員、人とのつながりを大切にするという点で、なにかご苦労されていることはございますか。

○中村文雄委員

今、お話がありましたけれども、孤独がたばこを1日15本吸うくらい害があると、あるいは15%くらい死亡率が高まるということで、非常に孤独に対する考え方というのはイギリスあたりはだいぶ色々な対策を練っているようですけれども、民生委員としたしましては、直接できることは訪問時によく高齢者の話を聞いてあげることと、少しでも皆で集まって話ができる、例えばいきいきサロンだとか、今日も下塩後では健康体操というのがあって10人ちょっと集まって体操したり、お話をしたり、という、そういう場づくりを地域の中で少しでも増やしていければと考えています。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございました。

時間が迫っている為、目標4～9に移ります。

がん対策、心の健康・休養、たばこ等。その辺で何かご意見や取り組みの報告等ありましたら、お願いします。

先日歯科医師会でぶどうの丘でイベントされたかと思いますが、その辺のお話をさせていただきますか。

○中村弘之委員

歯科医師会のメンバーは、健康について、あるいはおいしく食べる、最後まで食べられるということについて口の健康が一番だと常日頃から考えています。

食べないと人間死んでしまうわけですし、口は栄養の入り口であると同時に呼吸の入り口であり、会話の窓口であったり、孤独を解消するための会話にはやっぱり口が必要になってくるわけで、健康を維持するためには口の機能、口の環境といったものを充実させていくことが大切だと考えています。

よく健康寿命と本来の寿命の差が10歳あると皆さん聞いていると思いますが、この健康寿命をいかに延伸するかというのが市としても一番大事なことだと思います。

医療費の削減にも繋がりますし、財政難の甲州市にとってそこを何とかすることが大事だと考えております。

僕ら歯科は、口腔の健康を保つことで健康寿命延命できるというデータを持っています。

いかに早くそこに気づいて口の健康維持をしていただくかですが、歯がなくなって60代、70代になってようやく皆さん気づかれるわけです。若いうちからそこに気づいてもらって、健康を考えてもらう。それがウォーキングするとか走るとか、あるいはダイエットしたりだけではなく、体全身の健康を維持することになるだろうと考えています。

そこで歯科医師会では、今年度甲州市の健康増進課の皆さんに協力いただき連携して事業を実施しました。

まず、市広報に毎月歯科医師会からコラムを掲載し毎月テーマを変えて健康を維持するために、口から口を通してどういうふうにか考えるかという情報提供をしました。一部の方には大変好評だったようです。

それから20歳になる皆さんには、もう20歳の段階から口に興味を持ってもらって定期検診をしましょうという内容のリーフレットを作り配布していただきました。甲州市は本当に県内でも優れた活動をされている市役所だと考えます。興味が全くない学生に、いかに行動変容を起こさせるのが大変大事になるので、これが一つの足がかりになってくれればと思っています。

さらにはCATVで糖尿病と歯科の関係を主題とした15分程度の番組を作成し、2週間流していただきました。これも情報提供としては非常に有意義だったと考えております。

そのような連携の流れの中で12月に講演会に協力する機会をいただき、市で実施する公開講座の演者に歯科関係の講師を呼ぶことができました。昭和大学の歯学博士の講師を呼び、いかに口腔機能を維持することが寿命の延命に繋がるのか、健康を維持するために大事なのかという講演をしていただきました。

こういった情報提供を継続し、少しずつ掘り起こしをしたいと考えています。

また歯周疾患検診をもとに歯に関心を持ってもらって口腔に関心を持ってもらうと、確かに良い面があります。皆さんフレイルという言葉をよく使いなれるかと思えます。全身のフレイルは75歳を超えてくると徐々にですが現れてきて、例えば転びやすくなったり、飲み込む時にむせやすくなったりという状態が出てきます。

これは皆さん普通に起きることで、これ決して異常な病的な状態ではないですが、この状態を放置しておくのだんだん機能低下に陥ります。このフレイルの状態を早めに察知して、運動するあるいは予防すると、機能が落ちずにそのまま使い続けることができるのです。必ず年をとると落ちたりしますが、落ちるがゆるくなっていく。つまり健康な状態で長生きできるということになります。

このフレイルの最初の段階が、オーラルフレイルと呼んでいる状態です。初期の段階にオーラルフレイルが出てきて、そのあと全身のフレイルに移行していきます。

つまり、口のフレイルを早く見つけることで、健康を維持するために早い段階から体を動かし(運動し)てもらい、予防ができる、というふうにか考えているので、歯科に早く来てもらって検診をして、オーラルフレイルを見つけてもらいたいという願いを持って、色々な情報提供を行っています。

まだ達成はできていませんが、このような会の皆さんが一丸となって、地域に戻って市民の方々に情報を伝えていただき、多くの市民が関心を持ってフレイル予防、あるいはオーラルフレイル予防に向かっていただければ、非常に効果的ではないかと考えております。今年度はたくさんの事業を市と連携実施させていただきましたので、大変有効に効果的に活動することができました。ありがとうございました。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございました。

もう1点お尋ねしたいのですが、山日新聞に、歯の検診をした人は感染症にかかる率が検診をしていない人よりも3ポイント低いという報道があったのですが、何か教えていただけることがありましたらお願いします。

○中村弘之委員

定期検診をされる方が増えてきました。検診をして口の中を一度クリーニングしますが、3ヶ月するとまた元の状態に戻ります。歯石が付いたり、汚れがついてきます。だから基本的には3ヶ月に1回のメンテナンスをすると非常に効果が高くなります。口腔内の口の中の細菌は600種類ありますが、この細菌の中には悪さをする細菌、それから日和見菌でそんなに悪くない細菌、それから善玉菌と言われるような細菌、もちろん必要不可欠な細菌、いろんな種類の細菌が混在しています。口の中に汚れが付いてくると、悪さをする菌が増えてきます。この悪さをする菌が増えてきて、それが肺に行くから肺炎になるわけです。

肺炎の8割は誤嚥性肺炎といって、口の中の汚れが肺に行くからです。なので口の中を綺麗にしていると肺炎の発症は十分抑えられます。近年、インフルエンザやコロナも含めて、ウイルス性の感染症が猛威を振るっていますが、口の中を綺麗にしたから絶対ならないかということそういうものではありません。しかし、口の中が汚れていて、その悪玉菌の細菌がたくさんいると、例えば舌の表面のところに小さな傷ができる、出血ができる。そこから細菌・ウイルスが感染します。

なので、口の中のケアを十分にしているとインフルエンザの発症率が10分の1になったというデータもあります。

今回のコロナの感染症、歯科からのクラスターはほぼ出ていません。

僕は普通に診療していますが、感染する者は甲州市内の歯科医師会に1人もいませんでした。

なぜかという、もちろん我々も気をつけます。掃除機のような装置を使って、空気を口元で吸いながら治療をしたりもします。それぞれの感染対策を完全にします。器具も、手袋も全部毎回変えます。そういったことももちろんするんですが、それ以上にですね、口の中をまず綺麗にしてから治療を始めますので、この効果というのは非常に高いです。なので、この辺り老人保健施設がたくさんありますが、そういった施設でも口腔ケアをしています。積極的にすることでインフルエンザの発症率はぐっと落ち込みましたし、各施設の肺炎の発症率もぐっと下がりました。

これは口の中をきれいにするのは非常に大事だからということで、それは僕ら歯科医師だけの力ではなくて、ご家庭にいたらご家族がケアしてあげれば良いし、訪問看護の看護師らがケアすれば良いし、とにかく口の中を綺麗にするということが大事なので、その認識を持ってやってもらうと、圧倒的に感染症は減らすことができます。これは病院の方とかの方がむしろよく承知していて、塩山市民病院や牧丘病院では積極的にその口の中をケアしています。それを定期的にケアすることが大事なので、それで定期健診が非常に重要だというふうに表現しています。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございました。他にございますか。

(特になし)

④ 健幸ポイントこうしゅうについて

▶ 別紙2、別紙1 P12~P15

説明:健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

別紙2

・今年度健幸ポイントこうしゅう事業が実施5年目を迎えたため、事業の中間評価とあわせて、今後5年間の取り組みの方向性を考えた。

<事業開始5年目の中間評価について>

・方法:平成30年度から令和3年度の事業参加者1065名のアンケート事業参加前と参加後にとったアンケート集計表を用いた。

・結果:事業の効果は、あった。

左側の列 中央付近「事業の効果はあったのか」の部分。

棒グラフ(青色とオレンジ色の棒が2本並んでいるグラフ)が3種類ある。

1つ目 運動の実践(運動習慣がある人の割合)

2つ目 食の実践(栄養バランスの良い食事をする方の割合)

3つ目 自覚的健康感 *中間評価の目標でもある

以上の3つについて、参加前と参加後と比較すると、いずれも参加前より参加後の方が割合が高かった(良い結果になる人が多かった)ということがわかった。

中央の列 3.健康意識の向上 について

「健康意識の向上」は、当事業の短期目標として最初に決めた項目であるが、評価の仕方が難しかった項目であった。当事業は健康に関心のある方だけではなく無関心層も含めて対象にしている事業であるため、今回は「もともと健康づくりに関心がなかった方(健康無関心層)が、事業に参加したことでどう変わったか」という部分で評価した。その結果が、上下で色分けされた棒が3本並んでいるグラフである。

平成30年度 健康無関心層の方の中で50ポイントまでの取り組みを達成した方はいなかった。

令和元年度 データなし(グラフなし)。

令和2年度 50ポイント達成者が、健康無関心層の方の中で1名(9.1%)いた。

令和3年度 50ポイント達成者が、健康無関心層の方の中で10名(38.5%)いた。

→徐々に無関心層の中で達成率が上がってきており、人数は少ないが、令和3年度においては参加者全体の達成率よりも高かった。

4. その他の指標について

事業参加後のアンケートにおいて、参加前と比べて参加後に変化したことを聞いた所、

約2人に1人の方が「日常生活で意識して動くようになった」

約3人に1人の方が「定期的に運動するようになった」、「ストレスが解消できた」

「栄養バランスを心がけるようになった」。

約4人に1人の方が「野菜を食べるようになった」と回答をしている。

右側の列 黒丸の2つ目「参加実績・達成者数」について

達成率(下の表参照)は令和元年度が最も高かったが、達成者数で見ると、参加者数が最も多かった令和3年度が最も多かった。

達成率も大事であるが、全体の母数が増えることによって、事業に参加して良い変化があった方、達成をした方の数自体が増えることにつながったという結果がわかる。

今後の方向性と考察について

・結果として事業参加による効果は、あるとわかった。

・事業参加により運動習慣・栄養バランスは改善傾向であり、健康無関心層の方においても事業参加により健康づくりの行動が実践されている。今後も参加者数を増やしていくことで無関心層の方にも一定の効果が期待できると考えられる。その他の指標においても参加後の変化で良い効果が複数みられている。

・今後5年間の取り組みの方向性としては、まずは参加者を増やすことにより達成者数を増やしていくこと。

・また、今後健康意識が高い方だけではなく、様々な層の方を含めて幅広い対象層の参加者を増やししながら、市民の中で健康づくりに取り込んでいただき、達成する方の人数を増やしていくことが健康づくりの推進につながるかと考える。

・そして地域の団体・職域との連携を強化する、継続するという。昨年度の実績から地域の団体組織や職域への働き掛けが参加者数増加に効果的であることがわかっている。加えて、令和3年度の参加者の構成を

みると、年齢層・性別が今までと比較して偏りが少なく、全年齢層にわたって、男女ともに増えていたという特徴があり、地域の団体・職域との連携は若い方や男性の参加者増加にも効果があることがわかった。今後さらに連携を強化させていただき、事業の拡充・定着に繋がりたいと考える。

・中期目標として「検診の受診率向上」があるため、今後検診のインセンティブとして当事業を活用し受診率向上に繋げていきたいと考える。

・達成率の向上に向けた取り組みとしては、健康づくりの達成者を増やしていくために達成者の達成のコツや、脱落者の脱落理由などの調査を行い、反映させていくことなども今後検討していきたい。

●議長 瀧澤会長

健幸ポイントこうしゅうにつきまして、4年実施したところでは、健康意識の向上にそれなりの効果はあるということが確認されたということで、来年度も継続して実施していきたいと、そんな内容だったと思いますけれども、この件で質問やご意見や事業の補足などありますか。

○櫻井委員

別紙2の調査で、事業の参加前、1065人に対してアンケート調査をしております。

1065名から途中でこの事業の興味関心を失って、いわば脱落して、かつ最後のアンケートには答えたくないという人がいる。その方々を除くと参加後362名の方にアンケート調査をしております。

ということは、参加後の人というのは、この健幸ポイント事業・健康づくりを熱心にやっている方ですので、運動の実践者なり食の実践者なり自覚的健康感なりを参加前と参加後で比較しておりますけれども、参加後の人っていうのはそういった健康づくりに熱心な方がいわば純化されていますので、参加後に棒グラフの割合が参加前より高くなるっていうのは当たり前の話ではないかなと。データ分析の本を見るとデータの歪みであったり、あるいは生存バイアスなんていうことも書いてありますので、当たり前なのかなということで、そういうことはもう市もお気づきではあると思いますが、今後脱落者の脱落理由を調査するというのもありますので、そういったようなことは一つ真実というか、事実として指摘しておきます。

以上です。

●議長 瀧澤会長

ありがとうございます。事務局から何かございますか。

○健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

ありがとうございました。甲州市は山梨大学とのつながりがありまして、今回の事業評価にあたりましては、山縣然太郎教授にもご助言をいただいております。

参加後のアンケートは50ポイント達成をされた方が記入するアンケートになっていますので、確かに健康意識が高い方が多くなるかと思いますが、数として、そういった行動化がされて、アンケートの結果良い回答だった、という方が増えてくるということ自体は評価ができる部分ではないかと思います。また、山縣教授に確認をさせていただいた結果、今回の評価で「事業参加により運動習慣・栄養バランスについて改善傾向」ということで良いというお話をいただいております。確かにバイアスがあるのではないかとすることは考えましたが、それでも数として増えてきているということは、少しずつですけれども、甲州市の中で健康づくりに取り組んで、いい状態になっている方が増えていることになっているのではないかと考えます。

●議長 瀧澤会長

いずれにしても、参加者を増やすという努力が必要かな、と思います。

校長会では健幸ポイントこうしゅうにご参加されたというお話を伺いましたが、何かございますか。

○三森委員

今年度校長会の席上に健康増進課の方に来ていただいて、健幸ポイントこうしゅうについて説明をいただきました。

学校職員全員が参加というまでではないですけれども、小学校 13 校のうちの 7 校でこの健幸ポイントこうしゅうに参加しております。それから中学校 4 校中 3 校参加しており、市内の小中学校あわせて全参加者は 126 名でした。

全教職員の人数(母数)ははっきりいえないが、いずれにしても昨年度に比べて、格段に増加していることは間違いのないと思います。

さらにこのまま参加者を増やしていくことによって、職場の健康維持などといったところも図っていかれたらと思っております。

●議長 瀧澤会長

続けて、今年度の健康ポイントこうしゅうの事業実績について事務局から報告をお願いします。

説明:健康増進課 健康企画・地域医療担当 宮本

別紙1…12~14ページ

<令和 4 年度の健幸ポイントこうしゅうの事業実績について>

・5 年目の節目を迎える今年度は、これまでの本会での審議を踏まえ、事業実施期間の延長(実施期間を 3 ヶ月延長し、9 月スタートを 6 月スタート)に変更した。

・また Web から申し込みが行えるよう、Web 申し込みの体制を整備した。

・さらに、地域の運動イベントの登録推進や地域の団体・組織、職域との連携推進に取り組んだ。

→ その結果…

・12 ページの下にある表のとおり、今年度の参加者数は 452 名で昨年度から 31 名増加し、そのうち新規参加者数は 257 名だった。

・ポイント達成状況 :括弧内に、前年度と比較するための暫定値を記載している。

令和 4 年度事業実績(暫定値)は令和 5 年 1 月 31 日時点の人数、令和 3 年度実績(暫定値)は令和 4 年 2 月 15 日時点を示しており、日にちが若干異なるが、これを比較すると

50 ポイント達成者数 95 名(43 名増加)

100 ポイント達成者数 31 名(10 名増加)

・事業参加時のアンケートにて「この事業を知ったきっかけ」として、昨年度から職場の方々への周知活動を推進していたこともあり、「職場で知った」という回答が昨年度に引き続き 1 位という結果だった。

・また地域の運動イベントについては、計 8 事業が登録を行い、健幸ポイントの対象事業として実施した。

R3 年度 1 事業 → R4 年度 8 事業 (7 事業増加)

・今年度の参加者は昨年度から 30 名程度の増加でしたが、新規参加者数が 200 名を超えたことは、職域などへの周知に力を入れた結果であると考えられる。

●議長 瀧澤会長

健幸ポイントこうしゅうについて、中間評価の話と令和4年度の事業実績について報告をいただきました。

次は、第2次甲州市健康増進計画、第3次甲州市食育推進計画中間評価についてということで、事務局から説明をお願いいたします。

(2) 第2次健康増進計画・第3次食育推進計画中間評価について

▶ 別紙1 P16

説明:健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

別紙1…16ページ

<計画の期間>

この計画の期間は10年間となっており、令和元年度から令和10年度まで。

来年度、令和5年度が中間評価年度にあたる。

<令和5年度のスケジュール(案)>

・来年度1年間の間に、指標を評価するための市民アンケート調査を行い、こちらの協議会の中で審議を行い、中間評価を終える必要がある。

・スケジュールの案を資料に掲載したとおり、通常は当協議会では年に2回程度の会議開催となっているところを、来年度については中間評価を行うために計4回開催の計画としている。協議会と並行して専門部会も4回開催し、庁内ワーキングも適宜並行して実施していく方向である。

・具体的なスケジュール案

4月の下旬には第1回の会議を行いたい。

(補足説明:1回目の会議については2部構成にさせていただき、前半で通常年度当初の会議で行う、事業計画等の審議をしていただき、承認を得る。その後2部の後半の部分では、中間評価を年間通してスムーズに行っていくために、山縣教授に計画評価についての講義を依頼する予定。この講義は、食育推進専門部会の皆様にも聞いていただきたいため、2部から合同で入っていただく。)

5月のゴールデンウィーク明けには市民アンケートを開始したい。

(補足説明:4月末の協議会において、調査内容について説明と内容確認を行う予定。今年度中に調査項目をかなり詰めていく必要があるため、市で検討を進めている段階。)

5月上旬には、対象層にアンケートを行う。

7月下旬には第2回の協議会を開き、調査結果の報告の後、中間評価について審議いただく。

(この7月下旬の第2回協議会が、中間評価の審議のメインとなる)

11月中旬第3回では、第2回の審議を踏まえて作成した「素案」について審議いただく。

12月中に第3回での審議結果を反映した修正を行った後確認をとり、

1月にパブリックコメント

2月の下旬には最終合意

というスケジュール案。1年間で実施するため過密なスケジュールになっており、4月初から会議が入る。

<各団体・組織への依頼事項>

年度ごとに委員が交代となる組織・団体もあると思われるが、第1回会議での講義が来年度の間中間評価をスムーズに行うためのベースとなるため、ぜひ1回目の会議には新委員にご参加いただきたい。

委員交代がある団体・組織におかれては、極力会議前に新委員を市に報告いただき、4月の協議会には新委員に参加をいただけるようご協力をお願いします。

●議長 瀧澤会長

続けて、令和5年度事業の方向性についても説明をお願いします。

(3) 令和5年度事業の方向性について

▶ 別紙1 P17

説明:健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

別紙1…17ページ

・令和5年度事業計画については、来年度4月の協議会において正式な承認をいただくところだが、健幸ポイントこうしゅう事業が今年度から6月スタートに前倒しとなっていること、また計画の中間評価についても年度当初からスムーズに事業を推進必要があることから、本日の協議会で大枠の合意をいただきたい。

・計画の中間評価については、(2)で説明したとおりの(案)である。

・健幸ポイントこうしゅう事業については、令和5年度も6月1日事業開始の方向で準備を進めており、この周知として、毎年5月に全戸配布している「健康カレンダー」の表紙に健幸ポイントこうしゅう事業の6月スタートについて掲載を考えている。

・運動コース:地域の運動イベントについては、初年度に比べれば、今年度のほうが増えてきているが、さらに推進・拡大していきたい。公民館事業及び各地域・組織の団体の皆さまが行っている事業や、あるいは周りの方が行っている事業で該当するものについては、健幸ポイントに登録できるということをぜひ周知していただき、登録事業を増やしていけるよう御協力をお願いします。その際に、必要があれば職員が説明に伺うこともできるので、ぜひお声がけいただきたい。

・地域の組織・団体および職域との連携推進についても、参加者数を増やしていくため、また事業の周知を進めていくために、来年度も引き続き連携をさせていただきたい。年度の初めに団体・組織で集まる機会も多いかと思うため、ぜひそのような機会に御協力いただきたい。

●議長 瀧澤会長

第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画中間評価について、それから令和5年度のスケジュール、令和5年度事業の方向性について、質問やご意見ありましたら発言をお願いします。

○櫻井委員

国も健康増進計画を作っておりまして、令和6年度から国は次の健康増進計画が始まるということ。山縣教授が4月に中間評価に関する講義をされるということなのですが、山縣教授は国の次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会委員を務めていらっしゃるというのですが、国の現行計画の最終評価ですとか、あるいは国の次期計画の目標設定だとか、そういったようなことについていろいろ詳しい先生ですので、私保健衛生業務従事者としては、甲州市の計画の中間評価のことのみならず、国の次期健康づくり計画の策定の動きという部分もあわせて聞きたいと思います。先生もおそらくその中間評価の関連で話されると思いますが、保健衛生業務従事者としては、国の次期計画の動き、策定の動き、目標設定といったようなことについてお話を聞きたいという思いがあります。

○健康増進課 健康企画・地域医療担当 横瀬

ありがとうございます。市でも、そのような内容も予定をしております。今回の中間評価にあたっては、今の時代に合った健康づくり、計画に沿わせていく、という部分も必要かと思っておりますので、山縣先生には、国で動いている次期計画の傾向であったり、それをふまえて甲州市の計画の中間評価をどう考えていくか、どう反映させていくか、というところで、国の動きも合わせてご講義をいただく予定で考えております。ありがとうございます。

●議長 瀧澤会長

ほかにございますか。

(特になし)

では令和5年度健幸ポイントこうしゅう事業について(令和5年6月1日から事業開始)、また計画の中間評価スケジュールについて、ご承認をいただきたいと思っております。特に異論はありませんか。

(特になし)

→ではこの件については、承認をいただいたということとします。

それでは、審議事項は以上になります。進行を司会者にお返しします

○司会:健康増進課 健康企画・地域医療担当リーダー 田口

議長、ありがとうございました。

閉会の言葉を、飯島副会長お願いします。

4.閉会

○副会長 飯島委員

長時間にわたり、検討ありがとうございました。

おかげさまで令和4年度の取り組みの報告も確認され、課題もなんとなく見えてきました。それから、成果も見えてきました。このことにつきましては令和5年度に生かすようにしていきたいと思っております。本日は長い時間ありがとうございました。

閉会